



神奈川・レスキューサポートバイクネットワーク

会報第13号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2002年7月1日号, No.13

第13号の目次

- 1、七都県市防災訓練2002に向けて(2002/9/1)
～震災時活動研究分科会～
- 2、イベントレポート
 - ゆうあいピック参加(2002/6/2)・河内善徳
 - 防災拠点確認訓練(2002/4/14)・山田泰
 - 福島ツーリング(2002/4/28-29)・太田隆行
- 3、会員より
 - 安全運転大会に参加して ～辻谷圭～
- 5、編集後記

イベントレポート

6/2ゆうあいピックに参加

皆さん、ゆうあいピックって知っていますか？全国各県で開催されている知的障害者の方々のオリンピックです。神奈川県大会も県知的障害者スポーツ振興協議会等が協力し毎年催され、もう19回になります。今年も6月2日、晴天の中県内各地で様々な競技が行われました。今回の大会にボランティアとして参加された、救急救命分科会リーダー河内さんの報告を以下の通り掲載します。

河内善徳



6月2日(日)大和で行われたゆうあいピック

バスケットボール大会の救護所のお手伝いをしてきました。ゆうあいピックとは神奈川県内の各養護施設に通う知的障害を持った人たちが参加する運動会で、大会の目的は「神奈川県内の知的障害者がスポーツ活動の場に集い、家庭、学校、施設、職場で日ごろ鍛えた心と身体を互いに発表しあうことにより、心身の健全な成長と逞しさをさらに高め、力強く社会参加の意欲を培うものとする。また、本大会を開催することにより知的障害者への理解を高め、ノーマライゼーションの促進を図る機会とする」というものだそうです。私がお手伝いしたバスケットボールの他にも、陸上、水泳、バレーボール等の競技がそれぞれ異なった会場で行われました。去年は陸上のお手伝いをさせてもらったのですが、天気も良く皆さん元気に競技に参加され、傍にいた私も楽しい一日を過ごす事ができ、貴重な体験をすることができました。今年は朝から天気も良く、室内でもあった為に暑くなることを予想していましたが文明の利器である冷房が入っており、それほど暑さを感じませんでした。最初は恒例の神奈川県福祉部長さんと県議会議員さんなどの挨拶の後、選手宣誓によりゆうあいピックのバスケットボール大会の開催が宣言されました。ボランティアとしては日赤のほかに大和高校、大和西高校、大和南高校のバスケット部員の皆さんや審判員の方々が来られていました。今回のバスケットボール大会の参加者は33チーム433名だそうで、男子22チームをM1、M2、M3の3ブロック、女子11チームをF1、F2の2ブロックに分けて催されました。参加者は皆、気合が入っており、漫画のスラムダンクを髣髴とさせるユニホームを着ているチームがいくつもありました。NBAとまではいかな

七都県市防災訓練2002に向けて



昨年の千葉会場での参加風景 2001/9/1 千葉県旭市にて

毎年9月1日には、各地で防災訓練が行われます。自治体、消防、警察などのほか、民間でも数多くの

イベントが催されますが、神奈川県でも首都圏自治体協同開催で七都県市防災訓練を行っています。七都県市とは東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・千葉市・横浜市・川崎市の、七つの都県・政令指定都市間において防災協定を設け、同時期に訓練を行うというものです。神奈川RBでも草創期、足柄会場に参加したことはありましたが、その後の参加は見送っていました。近隣では千葉RBが千葉会場に毎年参加しており、自治体やその他防災関連団体に認知されてきています。去年は千葉RBの呼びかけで神奈川RBからも山田、矢代、太田(隆)の3名が参加し、千葉会場での物資運搬シミュレーションを行いました。

今年の神奈川会場は神奈川県と小田原市の共催ということで、昨年私たちの防災拠点確認訓練でも訪問した、小田原アリーナと城東高校が会場になるとの事です。

東海地震や神奈川県西部地震が想定される中、小田原地区は「天下の険」箱根を西に抱き、伊豆、静岡との境にあり要衝の地といえます。当RBにとっても参加により多くのことが得られると確信しています。参加形態は、今後神奈川県防災局等と詰めてゆくこととなりますが、神奈川RBの広報のため、また会員の訓練の場としても多くの方の参加を望んでいます。これに伴い8月にはシミュレーションも予定していますので皆様宜しくお願い致します。

いまでも、ちょっとした高校生程度の動きをするチームもあり、中にはコーチが大声で怒鳴ってメンバーに指示を出しており、単なるスポーツ大会とは思えないようなところもありました。中には実力差のありすぎるチームの対戦もありましたが、チームのみんなも観客も皆、一生懸命応援をしていました。優勝は M1 ブロックは PWL メイジャーズ、M2 ブロックは相模原養護学校、M3 ブロックは藤沢養護学校、F1 ブロックはハイビスカスガールズ、F2 ブロックは武山養護学校でした。救護所には看護婦 1 名、救護奉仕団員 2 名が詰めていました。結果から述べると今回のバスケットボール大会で、救護所でお世話した人数は五名で、その内訳は以下の通りでした。

青年 A (足首捻挫)

治療 シップ薬は患者側の自前、三角巾で足首固定の後、ご家族が病院に搬送。備考 歩くことが困難であった為、車までは会場より借りた車椅子を使用。後で聞いた所によると骨折やヒビはなかったと診断を受けたとの事。

青年 B (口内裂傷)

治療 滅菌ガーゼで傷口を押さえ、冷却剤で口を冷やす。備考 試合にでたとたん競り合い、肘打ちを受けたとの事で、治療後 5 分程度で出血は止まり、その次の試合から出場。

青年 C (上腕打撲)

治療 このとき会場を見回っていたため治療には立ち会っておらず、その治療の詳細は未確認。

青年 D (左眼上打撲)

治療 幹部を冷やす、吐き気もないため特に問題なしと判断。備考 救護員/コーチともどのような状況で打撲を負ったのか未確認。

女児 A (発熱)

治療 冷スビタで額と首の後ろを冷却、車でご両親とともに近所の病院へ搬送。備考 観戦中の 1 歳 8 ヶ月の女児が発熱、電子体温計は 40.2 度、水銀体温計は 39.2 度。保険証を持ってきていないからと様子を見たがっていた父親も、コーチの先生の強い勧めにより病院へ行くこととなった。結果、喉から来る熱であり、水分を摂り安静にしていれば大丈夫との事で閉会式前にはまた会場へ戻ってきていた。病院での治療の詳細は未確認。最初は赤味のかかっていた顔も落ち着き、機嫌もよくなっており安心。今回は室内ということもあり、擦り傷などで救護所に来られる人はい wasn't でしたが、競り合いや転んだことによる捻挫、打撲が比較的多かったようです。(三件で多いといえるかどうかですが) また、目の上や口の中などスプレー式の冷却剤を使用できない患者もいたため、手持ちの衝撃を加えることにより冷える冷却剤は全て使い切りました。次回からは 5、6 個は用意しておくか、そうでなければゴム手袋に氷を入れて簡易氷嚢とする必要があると思います。また、救護所にいる人は 3 人だけで、会場も 3 コート分とそれほど広くなく今回は特に必要は無かったのですが、特定小電力無線機を持っていってあげれば見回りをしている人を呼び戻して、手当ての手伝いをしてもらったりも出来ると思いました。昨年の陸上をお手伝いした時にはグラウンドが広い事もあり、救護所用に何台か無線機が置いてありました。他の会場の状況に関してはまた後日、報告があると思いますが、とりあえずバスケット会場は大きなが人もなく無事、終了しました。

防災拠点確認訓練

昨年来、川崎地区、小田原地区で準じ実施している防災拠点確認訓練について山田さんにレポートしていただきました。

山田泰



4月14日(日)、災害発生時には地形的にトンネルが多く陸の孤島となる可能性のある三浦半島地区への走行訓練を実施しました。

鎌倉市消防局

訪問先は災害ボランティアネットワークのある鎌倉市と横須賀市で、ボランティアセンターとなる社会福祉協議会です。また災害時にも安全で通行可能な交通経路の確認も試みました。(参加者 神林、太田(隆)、山田)

想定として、

4月12日 10:00相模湾を震源とする地震が発生。

藤沢市、鎌倉市、三浦半島、逗子市、横須市に大きな被害発生。

4月14日、神奈川RBは有事活動拠点である海老名(市民活動サポートセンター)本部に有志が集合。バイク隊を編成、鎌倉市、横須賀市のボランティアセンターに向け出発。』としました。

訪問した所は、鎌倉市社会福祉協議会、鎌倉市消防本部、そして横須賀市社会福祉協議会、横須賀消防署(米が浜)の4カ所でした。各訪問先では神奈川RBのPRと今回の計画書を渡し説明しました。どの訪問先でも丁寧な対応をいただきました。



横須賀市消防局

主な経路 :えびなサポセン 倉見 寒川消防署 寒川公会堂 岡田交差点 岡田交差点 湘南ライフタウン R1 影取 関谷インター 山田宅前

手広 常磐(ときわ) 鎌倉市社協 鎌倉市消防本部 昼食 逗子 逗葉新道 1-ピア団地 東逗子 田浦 横須賀市社協(総合福祉会館) 横須賀消防署 解散

感想 : R1 藤沢バイパスでは渋滞に遭遇、必死の思いですり抜けました。逗子走行時には神林さんのナビが活躍し、非常時の有効性が確認できました。

以上、また実施しますのでみなさん参加してください

福島 走ろう会ツーリング

太田隆行

ゴールデンウィークの始まり。4月28日(日)、久しぶりのツーリングです。集合は首都圏高用賀PAに6時。集合場所から一番近い私は一番乗り...の筈が、既にいましたね。

ミーティングにはいつも遅れ気味の中年、黄色のGS、神林号です。何故、ツーリングのときはいつも早いのだろうか??

続いてひげの20代、Gと坂本さんが現れました。クラッチのすべりは調整済み、加速も回復で元気満々です。集合に遅れること数分。今回のフィクサー、渡辺さん。シェルパで登場です。

そうです。今回は渡辺さんのルーツを辿る旅。福島にある渡辺さんの実家にご厄介になるのです。



まずは行程の相談。渋滞が予想される東北道と常磐道から福島に入ることに。常磐道は水戸を過ぎると渋滞も無く快適な道です。途中、給油に寄りながらいわき中央工を目指します。

いわき中央からは国道49号を南

進いわき市内へ。市内を抜けて国道6号を経て磐越東線沿いに再び北上する。磐越東線沿いの国道399号、県道41号は道幅もそこそこ広く快適な道です。

予定ではR399の予定があまりの新緑の美しさに、夏井川渓谷方面の県道41号にそれてしまいました。

方向を修正すべく川前部落から再び阿武隈高原の町道を北上。さわやかな林間と高原のコントラストを眺めながらワインディングを快適に走ります。川内村から都路村に抜ける国道は更に快適。行き交う車も少なく快適に進みました。

都路村から国道288号を西進し遅めの昼食を取っていると、渡辺さんに連絡あり。後発隊の福島西インターで待ち合わせの部隊がもう到着するらしいとのこと。予想外に東北道もすいていたのかもしれない。__

渡辺さん宅周辺

下道をゆっくり行くつもりが急遽、高速を利用することになる。広く往來の少ない288号を飛ばし、船引三春インターより磐越道へ、磐越道から郡山ジャンクションを経て一路福島西インターを目指して行きました。福島西を降りると下界は急に暑い感じが。山間の冷気が懐かしくなります。

インター出口で渡辺さんのお二人、シェルパネットワークの方々(もちろんシェルパ乗り)に会い、まずは渡辺さん宅に向かう。家の裏がすぐ林道。というので相当な時間を覚悟するが思いのほか近く20分ほどで到着。

まずは荷物を降ろし件の林道を走りに行く。

軽装のシェルパ3台に対し太田号は苦戦しながらついて行く。途中、ふかふかの土漠のようなところで渡辺さんたちシェルパ仲間は嬌声を上げながら走っている。遊んでいる。

ここで渡辺シェルパは前転の妙技を披露したらしい。

渡辺さんのヘルメットに痕跡が残っていた。



自然豊かな渡辺さん宅周辺

神林号は重量級にも関わらず林道をズンズン登って行ってしまふ。私もまずは練習と、タイヤの空気を抜き走り出す。まずは神林号の後を追うことにした。

この林道行で私のパラデロは初ゴケ。その緊張感から催してしまい、山の中に消えることとなった。(謎)

途中神林@GSもお腹を上に向けていたし、シェルパも前転したして、皆一回ずつ転がったわけでした。



林道でまだ遊び足りないシェルパ軍団を残し、神林、太田は夕食の買出しに出発。買出し後、渡辺さんの母上様も交えての酒宴となる。酒宴にはもうお1人シェルパネットの方が加わり盛況となる。

渡辺さんのルーツを聞いたような聞けなかったような、飲みすぎてよく覚えていませんでした。

渡辺邸での宴会風景

翌朝は渡辺邸で朝食後、磐梯吾妻スカイラインを目指す。

今年は暖冬のため少ないとはいえ、スカイラインは両側に雪の壁があるなど迫力満点。快晴のなか、

震えながら吾妻小富士を目指しました。浄土平で記念撮影後、猪苗代方面に下山。途中昼に手打ち蕎麦を食し、帰途に着くことにする。

磐梯熱海で磐越道に乗り、東北道佐野PAまで皆で走る。

渋滞のため、連なって走るのは帰って危険と判断し、佐野PAで解散宣言。思い思いに自宅を目指す。



見ず知らずのバイク仲間をお持て成しくださいました渡辺さんのお母上様。本当にありがとうございました。

磐梯吾妻スカイライン 浄土平にて

【その他のイベント】

4/ 1定例ミーティング・5/ 6運営ミーティング・5/ 19メンテナンス講習会・6/ 2定例ミーティング・4/ 16, 5/ 21, 6/ 18: ボランティアのための救護研修会

・会員から・

二輪車安全運転大会に参加して

5月25日二輪車安全運転大会が催され、神奈川RBの辻谷さんが優良ドライバー賞で表彰されました。神奈川RBでも講習会受講メンバーが少しずつ増えていますが今回そのシステムと内容について辻谷さんにレポートしていただきました。(〇)

辻谷圭(つじたに けい)

毎年5月から6月にかけて、全国各地の都道府県警や二輪車安全普及協会などの主催で、二輪車安全運転大会というものが開催されています。辻谷さん走行風景



この神奈川県でも、毎年大体5月末頃に二俣川試験場にて行われ、今年も去る5月25日に約80台の参加を得て開催されました。

さて、この大会が一体どういったものであるかと言うと、二輪車

の安全運転技能と交通徳の向上を図り交通事故防止を防止しよう、という趣旨を持ち、普段自分が運転しているバイクで実技を競う催しです。

実際の競技内容は一本橋やスラローム、制動といったお馴染みの課題は勿論、レムニー（坂道での8の字旋回）やブロックスネーク（突起のある、曲がりくねった一本橋の通過）といった、ちょっと高度な、普段なかなか練習しない課題もあり、計8課題の技能走行と、経路内を道路交通法に則って走行し、その正確さと安全性を競う法規走行を合わせて採点されます。もっと具体的な例を挙げますと、皆様が免許取得の際に教習所や試験場で受けた実技試験を思い出していただく分かりますかもしれません。

「バイクに乗る練習」というのは、もはや教習所時代で終わってしまったことでしょうか。いえいえ、そんな事はありません。

千鳥走行が安定して行えますか？ スラロームをパイロンタッチすることなく通過できますか？ タイヤをロックさせたりせずに制動しますか？課題の名前だけを見ると、なんだかどてつもなく難しい事のように思えますが、実はいつも自然とやっていることなのです。低速バランスは停止の寸前や側方通過で、スラロームはツーリングでのワインディングで。そう考えると、これらを普段の走行で反映させ、もっとスムーズな走行をするためにも練習は不可欠です。

その練習を行う場所が安全運転講習会（以下、講習会）であり、その達成度を確かめるのが安全運転大会であると言えます。



賞状を手に辻谷さん微笑む

そんな大会に私も昨年と今年、参加しました。自動二輪免許を取得して4年（普通車は5年）、今までバイクを乗りこなすというのは、低速バランスの上手下手や、スラローム通過の速さのことだと思い、とかくそればかりを目標にしがちでした。そしてこの大会や講習会の存在を知り、参加しているうちに、そういった運転技術の獲得

も大切ではあるけれど、果たして自分は日頃どれだけ「安全」というものに気を配ってバイクを操っているのか？という事を意識するようになり、その再確認の場として、この大会を一つの指標と自分で定めるようになってきました。

バイクは料理と一緒に、楽しみ方やその方法に制限はなく、ライダーの個性を持ってして、最大に楽しめるものだと私は考えています。

ですが、一歩間違えばどてつもない凶器となり、自分自身はおろか周りの人々をも巻き込んだ不幸を迎える可能性は、決して否めません。

「安全運転を心掛ける」と考えるのは簡単です。言うだけならもっと簡単です。しかし、安全運転とは決して自分一人の知識と技術だけで成り立つものではなく、いかに意識をもって運転するかではないかと思われませんか？たとえば、多少運転技術が未熟であっても、一見無駄なように思える後方確認をきちんと「しよう」、あるいはこの先どのような運転状況が「起こるのだろう」、という意識のあるなしで、ライダーの安全運転度は変わってくると思うのです。

よく話題にも上り、先ほどもお話しした講習会。ただ単に上手く乗れるようになる技術を教えて下さるだけの場ではありません。今まで申し上げてきたような、「安全」ということに対する感覚を養うための場でもある

と考えております。レスキューを行う上で「二次災害を起こさない」というのは大原則。特にこのRBという集団の性質上、安全運転は避けられない課題であると同時に、通常のライダー以上の安全意識を持つべきなのだと考えます。是非今一度、ご自身の運転技術のみならず、安全意識を再確認すべく講習会へ足をお運びになられては如何でしょうか。

近隣では警視庁や各警察署、あるいは二輪車安全普及協会、バイクメーカーなどが週末ごとに講習会を開いており、大概是僅かな参加費で受講が可能です。

皆様の今後の安全運転を願っております。

..!! お知らせ!! ..

神奈川RB携帯電話用サイト開設中

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(I-mode/J-sky/EZwebの各形式対応)

会員向けの近日イベント予定などを載せていきます。

非常時には緊急のお知らせを出す事も検討中です。

皆さんの携帯電話にアドレス登録をしてください。

編集後記

うとうとい梅雨。早く梅雨明けスカッと走りたいですね。梅雨に入っても週末の天気が比較的良かったので、埼玉・長野間をぶどう峠超えて、下記のおに「が」わ「ら」経由の単独ツーリングに行ってきた。おに「が」わ「ら」周辺は、春は木々や草花の色が日々変化して行くのが魅力ですが、夏を控えた高原は標高によって気候も風景も大きく違います。夏の暑さを忘れ高原を走るのは最高です。ピーナスラインも今年から無料！皆様ツーリングのついでに中島さんの「自慢の作」を食されては如何でしょうか？会報担当して2回目ですが出来栄はまだまだ。慣れるまでもう少し見守ってやってください。

神奈川RB事務局

代表 井上哲也、事務局長 手塚則生

郵送先 :〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2 24 2

かながわ県民活動サポートセンターレターケースNo.81

Fax :045-312-1862 (取次ぎ :レターケースNo.81 宛て)

URL : <http://www2.airnet.ne.jp/krb/>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポートバイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者 神奈川RB会報担当 太田隆行

神奈川RB会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなでいきましょう！



関西風 広島風 お好み焼き おに「が」わ「ら」

店主 中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel 0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km ダイヤモンドハケ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30~14:30、17:30~20:30 (火・水定休、祝日は営業) 上記以外の期間 11:30~14:30、17:00~20:00 (火・水定休)